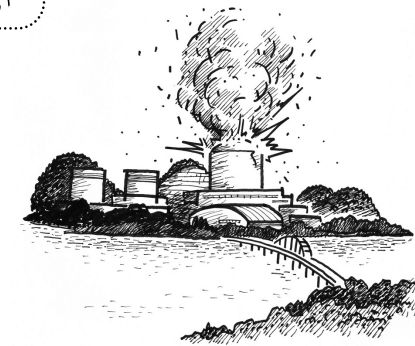


美浜原発事故時の避難計画

カラーリーフを活用してください

あまりにずさんで住民の安全は守れない

老朽原発 美浜3号、高浜1・2号の再稼働を止めよう！



イラスト：高木章次

【リーフレットの内容紹介】

1. 美浜原発事故時の避難住民は8割が原発立地の福井県民
2. 美浜原発事故時の避難先はそれぞれ一方向のみ
3. 美浜町は県外避難先がない。避難先は原発立地のおおい町
4. 住民の被ばくを前提にした避難計画。避難道路は大雪では使えない
 - ・ 避難道路の国道8号、北陸道は雪で通行止め
 - ・ 5km圏内の丹生地区は原発に近づきながら避難
 - ・ 要援護者の避難先：美浜町PAZ住民はおおい町のみ。UPZは具体化なし
 - ・ 美浜町の安定ヨウ素剤備蓄場所は役場のみ
5. 感染症対策と避難は両立しない
6. 美浜町のみなさんの声「町から避難についての説明はない」

◇美浜原発で福島原発事故並みの事故が起こったときの被ばく線量の地図

【高浜原発はリーフレット「40年超え老朽原発はとりわけ危険（2016年6月）」参照】

A4版 カラー4頁(A3二つ折り)
発行：避難計画を案ずる関西連絡会
2021年2月

【頒価】1部10円
50部以上は1割引/100部以上は2割引
(送料はご負担をお願いします)

避難計画を案ずる関西連絡会（連絡先団体）

グリーン・アクション／原発なしで暮らしたい丹波の会／脱原発はりまアクション／原発防災を考える兵庫の会／美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会／避難計画を考える滋賀の会



【取り扱い団体：美浜の会 大阪市北区西天満4-3-3 星光ビル3階 TEL：06-6367-6580 FAX：06-6367-6581

40年超えの老朽原発 美浜3号の再稼働を止めよう

ずさんな避難計画では住民の安全は守れない

- ◆ 風向きに関わらず避難先はそれぞれ一方向だけ
- ◆ 大雪では避難できない/感染症対策と避難は両立しない

福井県の杉本知事は、40年超えの老朽原発（美浜3号、高浜1・2号）再稼働の同意に向けて動き出しています。関電と国は2月12日に県知事に、「関電の使用済燃料を2023年末までに、むつ中間貯蔵施設を共同利用して搬出する」との案を示しました。知事はこれを受け、「再稼働の同意議論の前提条件は満たされた」として、2月県議会で議論の開始を要請しました。しかし青森県むつ市は、即座に、関電の使用済燃料の受け入れを拒否するとの見解を2月13日に続いて17日にも出しました。知事自らが指定した前提条件が成り立っていないことは明らかです。

他方で、昨年12月4日の大阪地裁判決が示したように、基準地震動が過小評価という判断は、大飯原発だけでなく老朽原発でも同様です。平均値ではなく、地震規模の「ばらつき」を考慮すれば、美浜3号の基準地震動は現行の993ガルから1,330ガルに、高浜原発でも700ガルが約1,100ガルに跳ね上がります。地震が原発を襲えば大事故になる危険があります。また、老朽原発は、原子炉圧力容器（お釜）や電気ケーブル等の重要な機器を取り替えることはできず危険です。

美浜原発事故時の避難計画はずさんで、住民の安全を守ることができません。国内初となる、40年超えの老朽原発の再稼働を止めましょう。（高浜原発についてはリーフレット「40年超え老朽原発はとりわけ危険（2016年6月）」参照）

1 美浜原発事故時の避難住民は、8割が原発立地の福井県民

今年1月5日に内閣府は、美浜原発事故時の避難計画である「美浜地域の緊急時対応」を公表した。美浜原発事故時の避難対象は、3県（福井県・滋賀県・岐阜県）の住民27万8,892人。そのうち8割強の227,869人が福井県民だ。

表1のように大飯・高浜原発事故時の場合と比較して、福井県民、滋賀県民が多く、影響は岐阜県まで及ぶ。

表2は、美浜原発UPZ（おおむね30km圏内）3県10市町の人口を示している。（岐阜県の避難対象者はUPZの

表1 原発事故時の避難対象人数（おおむね30km圏内）
（内閣府の各原発の「緊急時対応」より）

	美浜原発	大飯原発	高浜原発
福井県	227,869	72,111	51,597
京都府	—	82,628	116,154
滋賀県	50,974	497	—
岐阜県	49	—	—
合計	278,892	155,236	167,751

表2 美浜原発事故時の避難対象 市町ごとの人口

県名	市町名	PAZ	UPZ	合計
福井県	美浜町	767	8,537	9,304